

令和 6年 2月

舟木聡美 学位論文審査要旨

主査 尾崎 米厚
副査 難波 範行
同 森田 明美

主論文

Association between shift work in early pregnancy, snacking, and inappropriate weight gain during pregnancy: The Japan Environment and Children's Study

(妊娠初期の交代勤務と間食及び妊娠中の不適切な体重増加との関連について：エコチル調査)

(著者：舟木（石津）聡美、増本年男、天野宏紀、大谷眞二、黒沢洋一、JECS group)

令和5年 PLoS ONE 18巻10号 e0291579

参考論文

1. The effect of minimum and maximum air temperatures in the summer on heat stroke in Japan: A time-stratified case-crossover study

(日本における夏の最低気温と最高気温が熱中症に及ぼす影響：時層別ケース・クロスオーバー研究)

(著者：大谷眞二、舟木（石津）聡美、増本年男、天野宏紀、黒沢洋一)

令和3年 International Journal of Environmental Research and Public Health
18巻4号 1632

審査結果の要旨

本研究は妊婦の交代制勤務就業が妊娠中の不適切な体重増減や食習慣に及ぼす影響を明らかにするために子どもの健康と環境に関する全国調査、通称エコチル調査のデータを用いて検討したものである。全国の参加ユニットから得られた82,924名の妊娠前、妊娠初期・中期・後期の体重増加とその潜在的交絡因子と食習慣に関する情報を用いて研究を行った。妊娠中各種解析の結果、本研究では妊娠初期の就業状況と妊娠前後における不適切な体重増加については有意な関連がみられなかったものの、妊娠初期に月1日以上 of 交代勤務に従事していた母親では、習慣的なスナック菓子消費の調整オッズ比が増加がみられた。本論文の内容は、先行研究で指摘されていた一般労働者における交代勤務による不健康な食習慣が、妊娠中の女性にも当てはまることを示し、保健指導に応用できる知見を得ており、明らかに公衆衛生学における学術水準を高めたものと認める。